



6/10 ウナギ捕ったぞー！



3月末で閉校となった若宮小学校で、使用されなくなったプールを水槽に見立て「魚のつかみ捕り体験」が開催されました。

同イベントは「惣開校区まちづくり推進委員会」が主催したもので、若宮小の統合先である惣開小学校の児童や保護者ら約150人が参加しました。学年ごとにプールに入った子どもたちは、素早く逃げ回るウナギを追いかけ、大きな歓声と水しぶきを上げていました。

つかみ捕ったウナギは近くの惣開公民館でかば焼きに調理。参加者らの胃袋に収まり、心もお腹も大満足の日となりました。

6/10 鮮やかな色彩に魅了されました



船木校区の池田池まちづくり実行委員会主催による「第19回池田池菖蒲まつり」が開催され、多くの来場者でにぎわいました。

約5,000㎡の園内には、見頃を迎えた約5,000株・50,000本のハナショウブと、その周囲にはアジサイが咲き誇り、紫、白、黄色の鮮やかな色彩を放つ中、訪れた人は思い思いに園内の散策や、花の鑑賞を行っていました。

また、地元団体によるお茶席やバザー、手作りの雑貨やパン、お菓子などが並ぶフリーマーケットも同時開催され、会場を大いに盛り上げていました。

6/11 音楽でまちを盛り上げたい！



本市を題材にした曲「あかがねの街※」の完成を記念して、県内を中心に活動している歌手の珠季さんと、作曲者で市内アマチュアバンドリーダーの越智靖夫さんが報告のため市役所を訪れました。

曲は市との協働事業として、まちおこしに取り組む「NPO法人さしあげプロジェクト」が作成。新居浜の情景が綴られた歌詞や、軽快なメロディが特徴です。作曲担当の越智さんは「サビから始まる構成とし、聴きやすく歌いやすいメロディーに仕上げた。多くの人に歌ってほしい」と曲への想いを語ってくれました。

6/19 地域の皆さんの声を励みに



「平成30年度生活環境づくり活動功労者知事表彰」を受賞した石川敬さんが報告のため市役所を訪れました。

石川さんは、平成6年から自宅近くの渦井川土手沿いや、河川敷の雑草刈り取りと清掃などを始めました。平成21年ごろからは護岸に百日草やコスモスを植え始めたそうで、84歳になる現在も1人で活動を続けています。「通行人に『癒されるね』と声を掛けられ楽しんでもらえることが励みとなり、現在に至ります」と笑顔で話してくれた石川さん。受賞、おめでとうございます！

6/20

地道な活動が実を結びました



「平成30年度地域環境美化功績者環境大臣賞」を受賞した、田の上自治会の皆さんが報告のため市役所を訪れました。

ごみの分別徹底や啓発、ごみステーションや自治会館、水路、広場の清掃などを長年に渡って地道に続けてきた同自治会のこれまでの活動が高く評価されたものです。

会長の藤原さんは「先輩方が続けてきた活動が実を結びました。今後も引き続き活動を続けたい」と、受賞の喜びを述べたのに対し、市長からは「今後も環境美化のために尽力して欲しい」と感謝の言葉が述べられました。

6/25

チーム一丸となって



県大会を勝ち抜いた中萩 JSS の選手らが、第32回全日本小学生男子ソフトボール大会（8/3～6、松山市）への出場を報告するため市役所を訪れました。

今回はシード権を得られない中で、非常に厳しい予選大会となりましたが、見事に代表の座を射とめました。選手を代表し、キャプテンの小野晴葉さん（小6）が「全国大会では一戦一戦、チーム一丸となって全力で戦ってきます」と抱負を述べたのに対し、市長は「今回は地元愛媛での全国大会となる。一致団結して、全国制覇を目指していただきたい」と激励しました。

6/25

さらなる食育の推進に努めます



新居浜市食生活改善推進協議会が、大分県で開催された「第13回食育推進全国大会 in おおいた」において、時代に合わせた新しい取り組みに挑戦してきた食育活動が認められ、ボランティア部門、消費安全局長賞を受賞しました。

報告のため市役所を訪れた秦榮子会長は「栄えある賞を受賞し、感激の極みです。今後も行政や関係機関と連携しながら、さらなる食育の推進に努めます」と話し、市長からは「今後も市と協働でさまざまな食育活動に取り組み、市民の健康づくりにつなげていきたい」と期待の言葉が述べられました。

6/29

力を出し切って頑張ります



県大会において上位入賞の成績を取めた選手らが、全日本少年少女空手道選手権大会（8/4・5、東京都）への出場を報告するため市役所を訪れました。

選手を代表し、松本楓香さん（小5）は「予選では力を出し切ることができなかったもので、大会では力を出せるよう頑張ります」と大会に向けた抱負を述べました。これに対し市長からは「本市のみならず愛媛県の代表として、普段の力を出し切って一つでも上の成績を目指して欲しい」と激励の言葉が述べられました。



7/1

まちづくりの拠点として



マリニパーク新居浜で「みなとオアシスマリニパーク新居浜」登録証交付式が行われました。

同制度は「みなと」を核としたまちづくりを推進するため、住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設を国土交通省港湾局長が申請に基づき登録する制度です。式典の中で市長は「地域の皆さんのまちづくりの拠点となるよう、また、愛されるオアシスになるよう願います」と述べました。その後引き続き、海開きとマリニ村（主催：新居浜商工会議所青年部）が行われ、来場者は巡視艇による体験航海など、夏の海での催しを楽しんでいました。

7/1

国際交流七夕ゆかたパーティ



新居浜ガイドクラブ主催の「国際交流七夕ゆかたパーティー」が、ウイメンズプラザで行われました。当日はインドネシアや中国、ラオスやベトナムなど計7カ国からの参加者が浴衣や甚平を着て集まり、日本文化を楽しみながらにぎやかに交流しました。「自己紹介タイム」では上手に日本語で自己紹介をする人もいれば、昨日来日したばかりというゲストも！

星や笹の葉で美しくセットされた会場で、参加者らは素敵な七夕のひとつときを過ごしていました。11月には着物パーティーも予定されているとのことです。（取材：えひめ SOHO LABO）

7/1
7/2

大府市（愛知県）市民団体との文化交流



垣生公民館で「大府ばやし・小唄保存会」文化交流交歓会が開催されました。

大府市には住友重機械工業(株)や関連産業の工場が立地しており、かねてから本市と深いつながりがあります。大府市からは「大府ばやし・小唄保存会」のメンバーが来新し、「垣生じょうさ節保存会」の皆さんと交流。お互いの郷土芸能を披露し合い、親交を深めていました。

なお、7/2には大府市長も来新し、市長へ表敬訪問を行いました。今回の市民団体間の文化交流をきっかけに文化、スポーツ、防災などさまざまな分野での交流が期待されています。

7/5

県代表の自覚と誇りを胸に



県大会において優勝し、第38回全日本バレーボール小学生大会全国大会（8/7～10、神奈川県）への出場を決めた金栄ジュニアバレーボールクラブの選手らが、出場を報告するため市役所を訪れました。

選手を代表し、キャプテンの加藤伊吹さん（小6）は「愛媛県代表としての自覚と誇りを持ち、感謝の気持ちを忘れず戦ってきます」と大会に向けた抱負を述べました。これに対し市長からは「日頃の厳しい練習の成果を発揮し、悔いのない戦いをしてきてください」と激励の言葉が述べられました。